

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 演習日本史

教科：地理歴史 科目：演習日本史 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組 選択者

教科担当者：

使用教科書：（高等学校 日本史探究 清水書院）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】歴史の変化に関わる諸事象について理解し、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】歴史に関して、多面的・多角的に考察したり表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に研究等することができる。

科目 演習日本史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、構想したことを効果的に説明する力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して高貴される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1節 日本文化の黎明 ・黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 ・自然環境と人間生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。	・旧石器文化 ・縄文人の暮らし ・弥生人の暮らし	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	14
	第2節 律令国家の推移と社会の変化 ・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 ・国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解する。	・文字資料と出土遺物 ・国家の形成と古墳文化 ・律令制の成立	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	第2節 律令国家の推移と社会の変化 ・律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	・律令制の再建 ・古代の社会と東アジアとの関係	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	16
	第3節 律令国家の推移と社会の変化 ・貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の誕生などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 ・地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。	・貴族政治の展開 ・平安期の文化 ・地方支配の変化や武士の誕生	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	16
定期考査			○	○		1	
2 学 期	第1章 中世への転換と歴史的環境 ・権力主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・古代から中世への転換と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	・権力主体の変化 ・東アジアとの関わり ・土地支配の変容	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	14
	第1節 武家政権の成立と展開 ・武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸長、中世の社会や文化の特色を理解する。 ・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。	・武家政権の成立と展開 ・産業の発達 ・宗教や文化の展開	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	第2節 武家政権の変容と中世の社会 ・社会や経済の変化と影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化の関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。	・武家政権の変容 ・国際情勢の変化とその影響 ・社会や経済の変化	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	14
	第2節 武家政権の変容と中世の社会 ・政治や文化の多元化、多様化、国際関係の変化などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 ・武家政権や社会の変容と文化の特色について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	・戦国大名の領国支配 ・村落や都市の支配の変化	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
3 学 期	第1章 近世への転換と歴史的環境 ・政治・経済政策や対外関係を基に中世から近世への時代の転換を理解する。 ・村落や都市の支配の変化、アジアやヨーロッパとの交流などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容について、多面的・多角的に考察し、表現する。	・織豊政権の政治経済政策と対外関係	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	4
						合計	124